

1	事業名称	福島こどもカプロジェクト 信州高遠ふみだす探検隊			
2	新規・継続	継続	1年目		
3	趣旨	年齢の違う仲間と一緒に、自然体験・生活体験・文化体験などを盛り込んだ教育効果の高いプログラムに参加してもらい、子供たちの成長を促すことを目的とする。			
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日
		1回	7月26日(土)	～	7月29日(火)
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家			
6	募集人数	60人			
7	協賛・後援	協賛：東日本大震災復興支援財団 後援：文部科学省・福島県教育委員会			
8	参加者人数	48人			
9	参加者類型	中学2年11人、中学1年2人、小学校6年生7人、5年生15人、4年生13人（男子28名、女子20名）			
10	参加者地域	福島県 34人 長野県 14人			
11	参加者分析	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県からの参加者は、すべていわき市教育委員会の取りまとめによる応募であった。参加した子供たちは、いわき市田人小中学校と川部小学校の児童生徒たちで、顔見知りの子供たちが多く、初めから仲の良い子どもたちであった。 ・長野県からの参加者は、高遠小学校と原小学校の児童であった。 			
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
		70%	24%	6%	0%
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> ・登山で、いろいろな岩のところで写真を撮り、その岩の名前について考えることが面白かった。 ・スタッフやボラの人たちが面白く、親切でよかった。 ・野外炊飯で、みんなで協力していろいろなものを作って食べたことが楽しかった。 			
14	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・藤澤地区の農家の方に農作業の体験をさせていただきジャガイモの植え方などを農家の方に聞いて納得する姿が見られた。 ・泥んこ遊びでは、小学校4年生から中学校2年生までと年齢幅が広がったのだが、中学生が小学生の面倒を見つても思い切り泥だらけになって遊ぶ姿が見られた。 ・高遠町からの参加者を加え、守屋山オリエンテーリング登山に挑戦した。いわき市の子たちがチームとしての意識ができて始めている中で、高遠町からの参加者には硬さが見られたが、けわしい山道をお互いのペースに気を遣い、声を掛け合いながら登る中で、互いに認め合う意識が生まれてきたようである。 			
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・泥んこ遊びは、準備、片づけにかなり時間がとられてしまう。特に終了後体を洗う手順については場所や方法について詰めておく必要がある。 ・物品購入予算について、提出が早いため十分検討できず、予算が不足する事態となった。1年前にはプログラム内容をきちんと詰め、予算を確定しておく必要がある。 			
16	担当者メモ	<p>3泊4日のうち、初日と最終日は移動でとられるため、実質的に2日間のプログラムとなる。今回のプログラムは内容を盛り込みすぎたかもしれない。</p> <p>募集については、いわき市教育委員会に協力していただき、大変ありがたかった。途中中学生までに募集範囲を広げたが、特に問題はないと考える。</p>			

日程			
17	7月26日(土)	7月27日(日)	7月28日(月)
	9:00 いわき市発	6:00 起床	6:00 起床
	17:10 高遠着	7:00 朝のつどい	7:00 朝のつどい
	開会式	朝食	朝食
	夕食	9:00 受け入れ家庭との対面式	宿泊棟清掃
19:30 出合いのつどい	12:00 昼食(各家庭で)	8:30 高遠の子供たちとの出合いの会	7:00 朝のつどい
20:30 入浴	13:20 お別れ式	9:00 守屋山オリエン	着替え等
班ミーティング	14:00 ドロリンピック	テーリング登山	8:00 閉会式
21:30 就寝	16:30 高遠着-シャワー	14:00 テント設営	8:30 高遠発
	17:20 夕食	野外炊飯	17:10 いわき市着
	19:10 ナイトハイク	キャンプファイヤー	
	21:00 入浴	21:00 就寝	



出合いのつどい ~アイスブレイク~



宿泊棟にて



2日目 朝のつどい



農業体験 —農家の方と—



藤澤地区の方と記念撮影



休耕田での泥んこ遊び



ナイトハイクの後の星空観察



班ごとに守屋山に登ります



山頂でお弁当



中山湖でのキャンプ



班ごとに作った料理でみんなで会食



みんなで囲んだキャンプファイヤー